

「がんを治療する」ための 遺伝子検査があります。

がん細胞の遺伝子を検査。
がんの原因と考えられる遺伝子変異を探り、
あなたにあった
治療法を提案します。

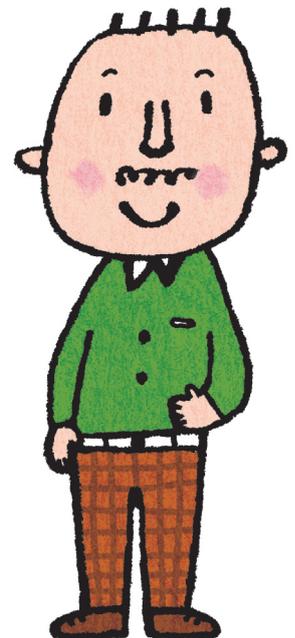
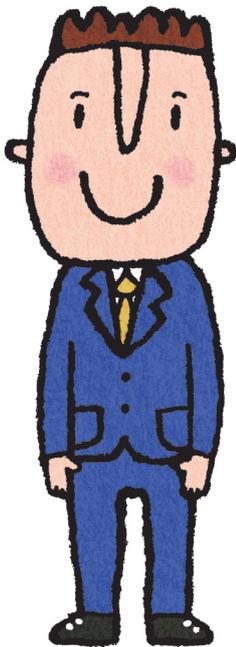
がんの原因や治療法は、一人ひとり違います

がんと
遺伝子の
関係は？

私のがんに
あった
治療法は？

がんには
どんな薬が
あるの？

もっと
がん治療
について
知りたい！



P5(ピーファイブ)がんゲノムレポート

がんの多くは、正常な遺伝子に変異(異常)が起こることによって発症することが分かってきました。

「P5がんゲノムレポート」は、がん組織の遺伝子を解析。

がん発症の原因と考えられる遺伝子変異の種類と、その治療に役立つ可能性がある

最新の国内外の薬剤情報や治験情報を主治医に提供するサービスです。

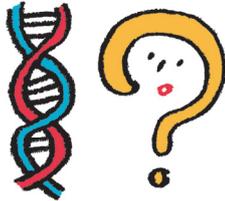
遺伝子解析の結果を、よりよい治療の選択に役立てていただくことを目的としています。

P5(ピーファイブ)がんゲノムレポートに関する よくあるご質問

がんと遺伝子の関係について

遺伝子検査で、 どんなことが分かるんですか？

がんの多くは遺伝子の変異によって起こることが分かっています。また、その変異の違いによって、がんの性質や抗がん剤の効き方に違いが出てきます。遺伝子検査を行うことで、がんの原因と考えられる遺伝子変異を知ることができます。



遺伝子を調べることで がん治療につながるのでしょうか？

近年、「分子標的薬」という薬剤が注目されています。これは、がんの原因となっている「変異分子」を狙い撃ちし、その働きを抑えることでがん細胞の増殖などを抑えるものです。一人ひとりのがん細胞における遺伝子変異情報を把握することで、分子標的薬を使った治療などをより的確に行うことができます。このような医療をプレジジョン・メディシンともいいます。

検査・遺伝子解析について

遺伝子検査のための 特別な検査が必要ですか？

がん組織の検体は、通常行われているがん検査や手術のサンプルの残りを利用します。そのため、別途検体を採取するなどの負担はありません。

遺伝子解析は どのように行われますか？

国際基準に準拠して管理された施設内で、最先端のシーケンサー(遺伝子解析装置)を用いて行われます。全工程を日本国内で実施しており、品質保証体制も構築しています。

全ての遺伝子変異を 知ることができるのですか？

すべてではありません。薬剤や治療の情報があるものを中心に、数十～百数十種類のがん関連遺伝子を選び、その配列を解析します。その解析結果を正常な遺伝子と比較することで、がんの発症に関わっていると思われる遺伝子変異を特定します。

信頼できるレポートなのでしょうか？

「P5がんゲノムレポート」は、米国の国立がん研究所を中心に行われている世界最大規模のがんの臨床研究(NCI-MATCH)の中で利用されている検査をもとに開発されました。また、レポートは日本臨床腫瘍学会のがん療法専門医もチェックします。



検査後の治療について

この検査を受ければ、がんは治りますか？

検査は、がんの治療を保証するものではありません。一方で、この検査により得られる検査結果は、がんの性質や状態などを知るための重要な情報となり、より効果的な治療につながる可能性があります。

レポートの内容によって、 今後のがん治療が変わるのでしょうか？

検査結果のみで今後の治療方針などが決定されるわけではありません。検査結果をもとに、医師と話し合った上で、あなたに合った治療法を決めることになります。



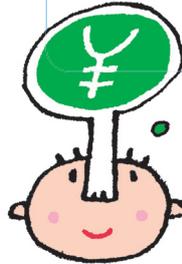
その他のギモン

最近よく聞く、 一般的な遺伝子検査とは違うんですか？

遺伝子検査の多くは、唾液や血液などから遺伝子を解析し、生まれ持った病気のなりやすさや体質などを知ることを目的としています。「P5がんゲノムレポート」は、「がん細胞の遺伝子」を解析することで、がん発症の原因となっていると考えられる遺伝子変異を探り、その治療方法を提案することに特化しています。

費用はいくらですか？ 医療保険は使えますか？

この検査は、保険診療として認められていないため、検査費用をご負担いただくことになります。具体的な費用については、主治医の先生にお問合せください。また、本検査で、あなたのがん細胞における遺伝子変異に対して効果が期待される薬剤が見つかったとしても、あなたのがんに対して承認されていない場合には、治療費は自己負担となります。



検査から結果が出るまで、 どれくらいかかりますか？

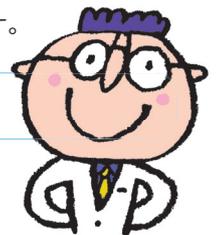
検査にかかる期間は4週間ほどですが、検査の内容によってはそれ以上かかることもあります。

どんながんにも有効ですか？

対象のがんは固形がんです。

●対象となる主ながんの種類

膀胱がん／乳がん／大腸がん／子宮内膜がん／食道がん／胃がん／消化管間質腫瘍／神経膠芽腫／頭頸部がん／腎臓がん／肝がん／メラノーマ／中皮腫／非小細胞肺がん／骨肉腫／卵巣がん／膵臓がん／前立腺がん／皮膚基底細胞がん／小細胞肺がん／軟部肉腫／精巣がん／甲状腺がん／その他原発巣不明のがんなど



「P5がんゲノムレポート」の詳細は、主治医の先生までお問合せください。